



報道各位

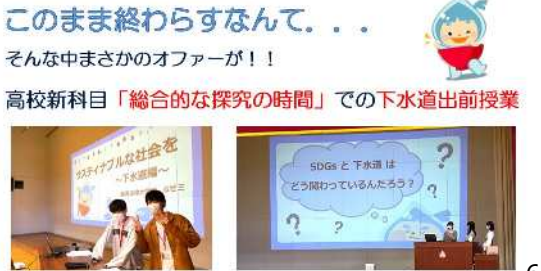
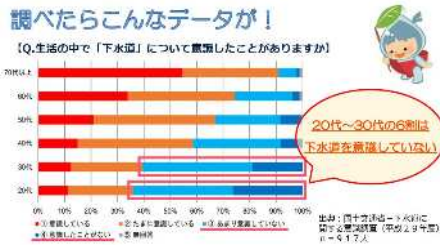
新潟市下水道部

国土交通大臣賞「循環のみち下水道賞」(広報・教育部門)の受賞について - 学生が調べ考え実践した下水道PR活動 -

この度、新潟法律大学校下水道広報部 (Gゼミ) と新潟市が協働して取り組んだ下水道広報活動が、令和5年度 (第16回) 国土交通大臣賞「循環のみち下水道賞」(広報・教育部門) を受賞いたしました。授賞式は9月8日(金)・東京で行われます。

9月下旬に、市役所本館において新潟法律大学校学生による市長報告を行う予定としています。後日、改めてご案内いたしますので、取材にお越しくさるようお願いいたします。

新潟法律大学校下水道広報部(Gゼミ)はこんなきっかけから下水道PRを始めました!



※この取り組みは、「公共マーケティング学習の一環として下水道事業広報の実践をつうじて学びたい」新潟法律大学校と「学生に下水道の事を知っていただくとともに、若い世代の発想・実行力を生かした下水道PRに期待したい」新潟市との協働の取り組みとして始められたもので、令和4年度から現在も継続して活動を行っています。

問合せ先

授賞式、市長報告会などについて	新潟市下水道管理センター 施設管理課 課長補佐 遠山 慎二	電話：025-281-9200 FAX：025-284-5849 E-mail：shisetsu.ps@city.niigata.lg.jp
取り組み内容の詳細などについて	新潟法律大学校 教務部就職室 室長 戸田 聡	電話：025-240-0100 FAX：025-247-6660 E-mail：toda.akira@nsg.gr.jp

令和3年12月 「公共的課題解決の実践的な学びのためテーマをいただけないか」と新潟法律大学校から相談。まずは下水道事業の広報をテーマに講義をすることとした。

令和4年1月～
2月 ● 下水道部職員が新潟法律大学校学生を対象に全4回の講義（リモート）



4月～
5月 ● 下水道PRを学生たちが企画・実践する「Gゼミ」発足
● 学生達が考えた下水道PR案のプレゼンテーション
● 学生達による**下水道PRポロシャツデザイン提案**



6月～
8月 ● 西部地域下水道事務所が行う小学校「出前授業」見学
● **Gゼミの取り組みに対する包括的な支援を決定（広義の「後援」）**
● 中部下水処理場の見学
● 自校校舎（中央区弁天2）を会場にイベント実施
● NSGカレッジリーグ学園祭
「みずきれいラボ（参加体験型イベント）」



● 小学生対象「夏休み自由研究教室」
下水道のしくみを学ぶ授業・水のろ過実験・紙の溶けやすさ（ボールすくい体験）ほか



10月～
11月 ● **学生達による高校への出前授業実施**
● 市は授業シナリオの助言・監修
● 11月9日、県立村上桜ヶ丘高校1年生へ新しい科目「総合的な探求の時間」の枠
高校担当教諭からも高評価



12月～
令和5年2月 ● これまでの取組内容をまとめ、東大公共政策大学院主催の協働コンテスト「チャレンジ!! オープンガバナンス2022（COG2022）」に応募。
提出書類が評価され最終審査へ通過。

● 3月5日最終審査でのプレゼンテーション準備（学校・市とも）
● 学生達が下水道部長・市民生活部長表敬訪問

3月 ● 5日、COG2022最終審査の結果、
「連携体制賞（自治体向け賞）」
「JIPDEC賞（協賛団体賞）」
の2賞を受賞
（於・東京大学）



広報・教育部門

Gゼミ《新潟法律大学校下水道広報部》 行政と連携したPR実践

新潟法律大学校・新潟市

受賞事例の概要

行政の仕事を知りたい！新潟市の下水道PRを学生の感覚で立案・実践

- ①目的：【学 校】本校は公務員を目指す学生が多く、下水道PRを通じ実践的な教育の場としたい
【新潟市】学生に下水道の事を知っていただくと共に、実行力を生かした下水道PRに期待
- ②進め方：新潟市が学生へ下水道広報について授業実施⇒学生が下水道を勉強、知識習得、処理場調査⇒学生が下水道PRを企画立案実践《新潟市は、アドバイス、フィールド提供など支援》
- ③実 践：
 - ・小学生親子を対象とした下水道自由研究教室実施18家族48名参加（写真1）
 - ・高校出前授業実施(新潟県立村上桜ヶ丘高校1年)高校生150名参加（写真2）
 - ・チャレンジオープンガバナンス2022(東大公共政策大学院主催)に応募、受賞（写真3）



写真1



写真2



写真3



- 2022年 1月:新潟市下水道部より講義『市役所の広報活動・下水道広報』《参加人数100名》
- 2022年 2月:ゼミ始動、Gゼミ講座『広報企画作成のための公共マーケティング』《参加人数50名》
- 2022年 3月:第1回企画プレゼン・夏休み自由研究教室企画を6班としてプレゼンテーション
- 2022年 5月:新潟市下水道部小学校下水道出前授業見学・第2回企画プレゼン
- 2022年 6月:新潟市中部下水処理場調査《2つの班12名が参加》
- 2022年 8月:夏休み自由研究教室開催《18家族46名参加》
- 2022年11月:新潟県立村上桜ヶ丘高校で下水道をモチーフのSDGs探求授業《1年生150名参加》
- 2023年 3月:東京大学公共政策大学院など各研究室共催COG2022『連携体制賞』『JIPDEC賞』
- 2023年 8月:新潟市立高志中等教育学校で探求授業開催・自由研究教室開催

PRポイント!

- ①市が学生に情報と課題を提供する
「自治体広報」「下水道広報の必要性和現状」
- ②学校が学生にソーシャルマーケティング講義
- ③学生が自ら下水道広報手法を考え実践する
何もなかったところから**学生が自らの考えで下水道広報を考え実践**する。あくまでも、学生主体で市・学校は必要に応じて支援を実施。

取組の効果!

- ①学生の声：自らの企画を実践したことにより**サステナブルな社会への関心が深まった。**
- ②COG 審査員の声：企画部門ではなくインフラ部門からの協働取り組みは貴重とコメントを頂く。
- ③高校教師の声：面白い取り組みと高い評価。
- ④市の声：**学生たちの下水道のイメージが変わり嬉しかった。**さらに、発想がゆたかで感心した。

Key Person



Gゼミ 4年生

最初、私達がつくった授業はあまりにも質が低く、リハーサルではゼミの先生に「最低だ!!」と言われてしまいました(笑)。「伝えたい気持ち」「下水道への十分な理解」がなければ、伝わらないと考え特訓しました。結果、大好評でテンション爆上がり！また、私達も教えることを通して下水道への理解や関心が高まり「知識のインプットだけでは足りない。アウトプットこそが大切なんだ」と実感しました。これが「教わったことを人に教える」高校総合探究授業企画をつくったきっかけです。